



営農
担い手

TACパワーアップ大会2023・書類審査結果

こくしょうよくさん

「TACパワーアップ大会2023」全国大会に向けての第一関門となる活動報告書の書類審査の結果が発表されました！

本県からは、TAC表彰部門4名・JA表彰部門1JA(詳細は下記のとおり)が書類審査を通過し、9月26日(火)に開催される「地区別審査委員会」へ進出することになりました。

【TAC表彰部門】

JA加賀・西出圭吾氏「ルビーロマンの商品化率向上に向けた取組み」

JA能美・西田誠也氏「たまねぎ産地の形成に向けた取組み～水田園芸ゼロからのスタート～」

JA石川かほく・櫻井和幸氏「産地戦略作成による持続可能な産地づくり」

JA石川かほく・高森静香氏「大崎園芸生産組合の産地維持・承継に向けて」

【JA表彰部門】

JA松任「TACの“総合的な支援”による農家手取最大化の実現」

地区別審査委員会に選出された皆様には、11月の全国大会へ向けて、また、惜しくも書類選考から漏れた皆様においても、2月開催予定の県大会へ向けて、活動報告書のブラッシュアップ等をお願い致します。

おめでとうございます！



営農
担い手

9/6 TACアグリビジネススクール

今年度の第4回目となるTACアグリビジネススクールが、“直近の農業情勢”をテーマに、以下の講義内容で開催されました。

- ①2024年問題とその対応・青果物輸送における全農の取組
- ②eMAFFの活用について
- ③日本農業大学校オンラインスクールの紹介
- ④JA全農山形における輸出事業拡大を目指した産地づくりの取り組み
- ⑤台湾における日本産食品市場について

講義内容は、TACだけでなく販売事業を行う部署の方や部会・組合の事務局を持つ担当者の方にも大変参考になりました。資料提供は可能ですので、必要な方は営農戦略室までお申し付けください。

また、次回は10月4日(水)に“会計・税務研修”をテーマに開催しますので、TACはじめ沢山の皆様のご参加をお待ちしております。(WEB参加も可能ですので、ご相談下さい。)

8/30 GAP指導セミナー

JAグループ石川営農戦略室が事務局を務める石川県GAP推進協議会では、8月30日に県内のJA営農担当者、農林総合事務所等を対象とし、GAP指導セミナーを開催しました。

講師には株式会社AGICの田上隆多氏を招き、GAPの必要性や実践のポイント、GAPの教育・評価システム「GH農場評価」について学んだ後、農場の写真を見ながらリスク発見演習を行いました。

本セミナーはより多くの方に学んでいただくため、**録画データを9月30日まで公開しております。**是非とも関係職員の方にご視聴いただき、日常の訪問活動等の機会を通じてGAPに関する営農指導をお願いいたします。

なお、録画データの視聴方法やセミナー資料は、9月8日付事務連絡にてご案内済みですので、ご確認ください。



秋の農作業安全月間が始まります

- 農作業事故を防止するため、JAグループでは農作業繁忙期である9月1日(金)～10月31日(火)を秋の農作業安全月間と定め、さまざまな取り組みを行っています。
- 農業における就業者10万人当たりの死亡者数は、危険が多いイメージのある建設業を上回る結果となっており、中でも乗用型トラクターからの転落・転倒が最も多い割合を占めています。
- 皆様にはシートベルト着用の声かけや農作業安全ポスターの掲示など農作業事故防止に向けた取り組みにご協力願います。



政策
推進

「国消国産キャンペーン」の結果について(お礼)

標記キャンペーンの応募期間が8月末をもって終了しました。5,500通を超える応募をいただき、ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

今後、抽選を行い、9月下旬以降賞品を発送する予定です。

また、10月からは「全国直売所キャンペーン」を実施する予定ですので、引き続きご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

次回キャンペーンの詳細につきましては、後日ご連絡いたします。



政策
推進

「国消国産」にかかる各種広報資料のご提供について

「国消国産」の意義等に関する情報発信を目的として、各種広報資料を無償配布いたしますので、積極的にご活用いただきますようお願いいたします。

○提供資料

- ①ポスター
- ②のぼり
- ③学習帳
- ④クリアファイル



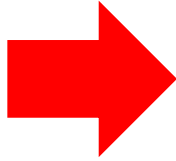
配布数、活用方法等については、別途ご案内いたします。

また、10月初旬に、CM素材・メッセージ動画データがJA全中役職員専用ページ等に公開される予定です。

切り花葉ぼたん 播種・定植開始



現在の状態



収穫直前

「切り花葉ぼたん」は、水稻育苗ハウスを有効活用(ハウス使用期間7月～12月)して栽培が可能な品目で、現在、石川県内では加賀市～能登町まで、70を超える経営体で栽培しています。7月中旬より各地で順次播種作業が始まっており、8月は播種・定植作業のピークとなりました。

今後は、関係機関と連携し、新規生産者や栽培経験が浅い生産者を中心に収穫率向上に向けた現地巡回・栽培指導に努めてまいります。

ブロッコリーの定植が始まりました！

水田園芸の重点品目である「秋冬ブロッコリー」の定植が各地区で始まりました。

排水性が課題となる水稻早生跡においては、全農レンタル農機の溝堀機や畝立て機の活用もすすめています。

ただ、本年の定植時期は降雨がほとんどなく、逆に灌水できるかどうか初期生育に大きく影響すると想定されます。作付前に、圃場の水利条件を確認し、圃場に応じた灌水指導(スミサンスイ、畝間灌水等)をお願いいたします。



～9月の予定～

日時	内容
9月26日(火)	TACパワーアップ大会2023地区別審査委員会
9月29日(金)	農産物直売所連絡協議会 連絡会議(第2回)
10月4日(水)	第5回TACアグリビジネススクール
10月5日(木)	次期TACシステムJA代表者向け操作研修会

【お問い合わせ先】 JAグループ石川営農戦略室
TEL：076-240-5052 FAX：076-240-9120